



●レジオネラ症に注意しましょう！

レジオネラ症は、入浴施設が原因となり発生するものと思われがちですが、家庭などでも感染する可能性があります。掃除をしていないシャワーノズルや超音波加湿器などは注意が必要です。レジオネラ症はヒトからヒトへはうつりません。

◆感染経路

1.エアロゾル感染

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（目に見えないほどの細かい水滴）を吸い込むことで感染します。冷却塔水、加湿器や循環式浴槽などによる感染事例が報告されています。

2.吸引・誤嚥（ごえん）

エアロゾル感染以外に、温泉浴槽内や河川で溺れた際に汚染された水を吸引・誤嚥したことによる感染事例が報告されています。

3.土壌からの感染

レジオネラ属菌で汚染された腐葉土の粉じんを吸い込んだことが原因と推定される感染事例が報告されています。

◆加湿器などからの感染を防ぐためには？

超音波振動などの加湿器を使用するときには、毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。また、循環式浴槽（追いだし機能付き風呂・24時間風呂など）を備え付けている場合は、レジオネラ症を予防するため、浴槽内に汚れやバイオフィーム（生物膜：細菌で形成される「ぬめり」）が生じないように定期的な洗浄等を行うなど、取扱説明書に従って維持管理しましょう。汚れや「ぬめり」を落としてレジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすことが大切です。

◆かかったらどうすればいいの？感染リスクは？

レジオネラ肺炎は、マクロライド系、ニューキノロン系等の抗菌薬で治療することができます。早期診断、早期治療が重要です。

高齢者や新生児は肺炎を起こす危険性が通常より高いので、注意が必要です。

また、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能が低下している人も、リスクが高いとされています。

レジオネラ症

潜伏期間・・・2~10日

レジオネラ肺炎

- 主な症状
  - ・全身倦怠感・頭痛
  - ・高熱・呼吸困難・胸痛
  - ・筋肉痛・寒気・咳
  - ・下痢・意識障害 など
- 特徴
  - ・軽症例もあるが、適切な治療を行わない場合、命に関わることもある

ポンティアック熱

- 主な症状
  - ・突然の発熱
  - ・寒気
  - ・筋肉痛 など
- 特徴
  - ・一般に軽症で数日で治ることが多い

レジオネラ属菌とは？

- ◆自然界（河川、湖水、温泉や土壌など）に生息している細菌です。
- ◆アメーバに寄生し、その細胞内で増殖し、一気に放出されます。
- ◆20~45℃で繁殖。60℃以上、5分間で殺菌されます。

期 間		2021年 41週		2021年 42週	
		10/11~10/17		10/18~10/24(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	11	0.69	13	0.81
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	2	0.13	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	1	0.06	4	0.25
感染性胃腸炎	➡	50	3.13	58	3.63
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	0	0.00
手足口病	➡ <b>警報レベル!!</b>	117	7.31	93	5.81
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	13	0.81	15	0.94
ヘルパンギーナ	➡	37	2.31	32	2.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	8	1.60	3	0.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00